2019年度(令和元年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(80)番 福山市立 道上小 学校

1 育成する力(21世紀型"スキル&倫理観")

育成する21世紀型"スキル&倫理観"	コミュニケーション能力	人としての思いやり	能動的に動くことができる力
めざす子ども像(21世紀型"スキル&	・相手の意図をつかみながら話を聴き, 目的や意図に応じ	・自分の異なる意見を受け入れ、お互いに相手の立場を	・課題解決に向けて自分から進んで調べたり、協力して解決したり、新たな課題を見つけようとしたりできる。
倫理観"を身に付けた児童生徒の姿)	て適切に話すことができる。	考え行動することができる。	

2 授業の現状

- ・算数科において、習得した知識や技能を活用して、考える力が十分でない。
- ・自分の考えや活動に自信がなく、消極的になっている児童固定化している。
- ・算数科を中心として、課題解決に向けて話し合う態度が定着しつつある。

転換

3 めざす授業の姿

- ・主体的な課題設定の場がある。
- ・児童が自発的に質問をしたり、考えを確かめたり、話し合って考えを深めたりする場がある。
- ・児童自ら学習の終結や持続を判断し、友だちの学びに共感できる場がある。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況		9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
○課題解決に向けた児童	○話し合いの場を作ることはできて		○児童が意欲的に取り組め	○問題提示の工夫をし、多様な	○話し合いの様子をとらえ, 主体的	
の主体的な活動や話し	いるが,主体的な活動の場作り		る問題提示や, 話し合い	児童の反応が見られるなど意	な活動となる進め方について指	
合いの場を作る。	は、もう少しであった。	N	を取り入れる場を工夫す	欲的な様子は見られてきた。	導・支援をし,肯定的な評価をす	
○自分や友だちの学びに	○振り返りの場作りは、学級によっ	И	る。	一方で,グループの話し合い	る。	
ついて振り返ったり、認	て差があった。自己の学びを振り		○授業展開工夫し, 時間を	では意見を言う児童が偏り、話	○目指したい姿を再認識して,全学	
め合ったりする場を作	返ったり, 友達と認め合ったりす		確保すると共に,振り返り	し合いが深まらないこともあ	級で次年度につながるように具	
る。	る場に、十分にたしていない。		の視点を明確にする。	る。	体的な取組を行う。	

5 取組の結果等 数値は2019年(R1年)調査等の状況

全国学力•学習状況調査(%) 〈児童生徒質問紙調査〉(%) (肯定的評価)

	本校
国語	68
算数	65

自分にはよいところがある	84. 2
先生はよいところを認めてくれる	76. 9
将来の夢や目標を持っている	90. 5
人の役に立つ人間になりたい	97. 9

2019年度「基礎・基本」定着状況調査 〈児童生徒質問紙調査〉(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	81. 1
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	74. 3
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみたい」と思う	63. 5
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	71. 2

暴力行為発生率•不登校児童出現率	(%)	(12)月末現在

暴力行為	0. 17	不登校	0. 17

体力つくり改善計画 【広島県体力・運動能力調査から】 令和元年(6)月実施 12月再実施

			1271 + + +
県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子)	男子・女子共に「50m走」「20mシ	走力, 持久力に課題がある。	毎時間行っている「走力を高める
32/48	ャトルラン」において県平均かつ全		運動」の見直し
(女子)	国平均値を下回る学年が多い。走		握力コーナーなど, 運動の習慣
39/48	ることや持久力に課題が見られる。		をつけるための取組

目標値

20m シャトルラン, 50m 走における県平均を上回る項目数を18/24以上にする。

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%) R1年(12)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	77. 3	0
仕事に充実感がある	66. 7	0

児童生徒アンケート(%)	R1年(7) 日宝施

几重工(亿/ 0 / 1 (/ 0 /	111十(1)71天心	
質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	77.4	22.6
自分の考えは、認められている	72.2	27.8